

Contacts:

Investor/Business Press:
Paul D. Baker
Comverse Technology, Inc.
paul.baker@cmvt.com
+1 (212) 739-1060

Industry Press:
Julie Shafiki
Comverse, Inc.
julie.shafiki@comverse.com
+1 (856) 608-4601

報道関係者各位**Comverse Asia Pacific (APAC) Vision Seminarの一環として、
グローバルな通信市場のビジョンをテーマとするセミナーを日本で開催**

2008年10月3日 - Comverse Technology, Inc.の子会社で、通信事業者向け付加価値サービスや課金システムのリーディングプロバイダである Comverse は、今回で3回目となる Comverse APAC Vision Seminar を来月、11月7日(金)に東京コンファレンスセンター品川で開催いたします。

このイベントには150名を超える通信業界の関係者が参加する予定で、コンバーズのシニア・エグゼクティブによるグローバルな通信環境の変化や、今後の通信市場の成長分野について当社の考えを多角的に示します。また、セミナーには株式会社MM 総研取締役所長の中島 洋氏を迎え、「通信プラットフォーム軸に始まるメディアの大再編成と大競争」と題した基調講演を行うことになっております。

毎年、アジア各国で開催されている Comverse APAC Vision Seminar では、世界の通信業界のトレンドを説明すると共に、セミナー参加者と会社のビジョンを共有し、最新の製品ポートフォリオを紹介しています。グローバルに通信事業者をサポートしている経験から、各地域のニーズに焦点を当てた製品戦略やソリューションについて説明し、且つ先進的なソリューションをデモンストレーションする予定です。通信事業者にとっては新たな環境に進出するための展望や新たな着想が得られる機会となると思われれます。

日本コンバーズ 代表取締役社長 オデッド・ゴランは次のように述べています。「Comverse は革新的なグローバルマーケットリーダーとして日本の通信市場で15年以上に渡ってボイスメール、ショートメッセージシステム(SMS)、リアルタイム/ポストペイド課金システムなどを提供してきました。日本は世界で最も進んだ通信市場と最先端のテクノロジーの拠点で、日本でのセミナーは毎年の APAC Vision Seminar シリーズのハイライトになっています。弊社は、毎年 情報とアイデアの交流の場となっているこのイベントが、サービスとユーザの利便性を更に向上させる方法を見いだす場にもなることを期待しています。」

参加をご希望の場合は、ウェブサイト(www.comverse.com/japan/)からお申し込みができます。お問い合わせは株式会社日本コンバーズ「Comverse Vision Seminar 2008 - Japan」事務局(japan.seminar@comverse.com、電話: 03-5324-9180)までご連絡ください。

Comverse について

Comverseは、ネットワークベースのメッセージングおよびコンテンツ付加価値サービス、統合ビリングそしてIP通信のソフトウェアおよびシステムを提供する世界的なソリューションベンダーです。Comverseのソリューションは世界130カ国において500以上の通信サービスで採用され、収益、カスタマーロイヤリティ、経営効率の向上に貢献しています。Comverseの Total CommunicationSMポートフォリオは進化する通信世界においてパーソナライズされたライフスタイルを促進し、総合的なサービス環境を提供するInSightTM Open Services Environmentに基づいています。また、Comverseのソリューションはネットワーク内、ホストおよび管理サービスを含むフレキシブルな配備モデルに対応しており、回路交換、VoIP、IMSおよび統合ネットワーク環境にインテグレーションが可能です。ComverseはComverse Technology, Inc. (CMVT: PK) の子会社です。詳しくはwww.comverse.comをご覧ください。

文中で言及した製品名および会社名は、いずれも Comverse または参照したそれぞれの所有者に属する商標または登録商標です。

本リリース中には、1995年私募証券訴訟改革法 (*Private Securities Litigation Reform Act of 1995*) において定義されているリスクおよび不確実性を伴う「将来の予測に関する記述」が含まれています。この将来予測に関する記述が実現する保証はなく、実際の結果は将来の予測や見通しと大きく異なる可能性があります。Comverseにとっての重要な要因には、次のものが含まれます。すなわち、2008年1月28日付取締役会の特別委員会による Comverseのストックオプション付与実務やその他の会計業務に関連する事項に関する調査結果、前記の調査の結果あるいはComverseのVSOE (*Vendor Specific Objective Evidence*) 評価の結果として行なわれ、あるいは、必要とされることが見込まれるComverseの財務諸表の修正その他の措置、証券取引委員会 (SEC) への当社の報告提出能力の欠如、マーケットメーカー不在等による株式取引に関する悪影響を含むNASDAQからの当社の普通株式の上場廃止や「ピンクシート (*Pink Sheets*)」における当社の普通株式の取引相場の影響、当社のNASDAQ普通株式再上場の能力に関するリスク、返済の前倒しを含む当社のZYPS (ゼロ保証) 契約に基づく債務不履行に関するリスク、当社のストップオプション付与実務やその他の会計業務上の不正行為、当社の財務諸表の修正、あるいはこれらの調査又は修正の直接又は間接の費用より生じ、あるいはそれに関連して生じる訴訟 (係属中の有価証券集団訴訟およびデリバティブ訴訟、SECにより実施されるおそれのある民事差し止め措置を含む) および政府の調査又は手続のを含むリスク、当社の製品に対する需要の変化、当社の現在および将来の顧客が消費する資本の変化、巨大で複雑かつ高性能なシステムの販売、あるいは、新製品の展開と当社あるいは競合他社からの新製品または強化製品の顧客受け入れの不確実性に伴うリスク、急激な技術革新と当社によるタイムリーでコスト効率の良い新製品を展開の能力に伴うリスク、当社の価格値下げを引き起こすおそれのある積極的な競争、新製品の販売増加による当社の従来製品の販売減少の補填不足、当社が機能している競争環境あるいは規制環境の変化に伴うリスク、知的所有権の侵害に関する告訴あるいは申立ないし訴訟の防護に伴うリスク、為替レートの変動、オークションレート証券への投資、金利、公開株式および非公開株式の評価額の変動を含む重要な国外での事業、国外での販売および投資活動に伴うリスク、マクロ経済や産業の状況および国際市場の変動性、情報技術に関する消費低下のリスク、当社の既存の人材

の維持並びに優秀な人材の確保と維持の能力が含まれます。Comverseは法律により求められる以外の将来の予測に関する記述の更新、または改訂に関する責任を負いません。

#####